

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報

団体名	社会福祉法人わらしべ舎 わらしべ舎西多賀工房	
代表者名	(役職名) 刊 シゴ 施設長 森 信吾	
連絡先	TEL : 022-307-6320 FAX : 022-743-5582	E-mail soapgroup@warashibesha.com

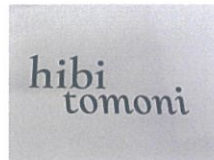
1、助成事業報告

助成を受けた事業名	社会福祉法人わらしべ舎 わらしべ舎西多賀工房
事業の目的	わらしべ舎西多賀工房は「地域の中で共に生きる」を理念に、障害を持った方が充実した日々を遅れるよう様々な支援サービスを提供しています。また、地域貢献活動やもの作りを通して、地域の中で利用者の社会参加が創出できることを目指しながら、一人ひとりの意志の尊重と自己決定を大切にしています。 化粧石けんとして商品開発や新パッケージデザイン、販路は拡大することで、売上を向上させ、利用者さんの工賃を上げることです。そしてそれが自立に繋がることできればと考えています。
事業の具体的内容	化粧石けんの認可が下りたことを機に、パッケージを一新して販路を拡大したいと考えています。 手作り石けんは植物オイルのみで製造しています。肌に優しいので、お肌が敏感な方や赤ちゃんにも安心してお使いいただけます。そこで、無添加・敏感肌製品の店舗や自然派・オーガニック商品の専門店などを中心として販路を広げ、また、贈答品に適した、新商品の開発やパッケ

	ージデザインも同時に行っていきたいと考えています。 また、化粧石鹸の規約により商品名の改名が必要となった事もあり、デザイナーに商品名・パッケージ・パンフレットの作成に関わっていただくことで、コンセプトを生み出し、化粧石鹸としての新たな第一歩を踏み出したいと考えています。 特にパッケージは商品のイメージになる重要な部分ですが、そこに利用者の絵を活かすことが出来れば、利用者の作業意欲も向上します。そのためにも、デザイナーの力が不可欠です
活動の開始から完了までの流れ	① デザイナーとアートディレクターと石けん製造担当者で、今後の方向性や展開について打ち合わせや情報交換を行う。 ② 県内、市内の商品調査を行う。 ③ パッケージミーティングを行う。 ④ パッケージ用の絵の作製を西多賀工房、羽黒台工房、それぞれで作製する。 ⑤ 石けんのサンプルを作製する。 ⑥ パッケージのミーティングを行う。 (ブランド名、コンセプト) ⑦ 石けんのデザインやパンフレットについてミーティングを行い、石けんやパンフレットの試作をする。 ⑧ パンフレットとの内容を確認する。 ⑨ 試作したパッケージを石けんに合わせて、最終確認をする。 ⑩ プロトタイプ完成させる。
活動の成果と教訓	① デザイナーとアートディレクターと石けん班担当者で、今後の方向性や展開について、打ち合わせや情報交換を行った。 ② 県内、市内の商品調査を行い、サンプルを購入したことで、価格帯、傾向、販売店舗がわかり、販売プロトタイプの製作につながった。 ③ 市場調査で購入した石けんを参考に、パッケージのミーティングを行い、パッケージやパンフレットのたた

き台を作製した。

- ④ 羽黒台、西多賀工房ともに石けんのイメージに合わせて画材を工夫し、パッケージ用の絵を作製した。
- ⑤ 石けんのサンプルを作製して大きさやグラム数を決めたことで、パッケージの寸法が決定した。
形は利用者がパッケージしやすいように丸形から正方形に変更することにした。
- ⑥ ミーティングでブランド名をデザイナーから提案の「hibitomoni」に決定した。このネーミングは、大切な毎日にそっと寄り添いながら、日々のケアに使っていただきたいとの思いを込めてつけた。



- ⑥ 白い石けんのアボカド石けんとオリーブ石けんの区別をつける為、色を入れることにした。



- ⑦ 4種の石けんのデザインをマーブル模様にすることに決定した。



- ⑦ 西多賀工房の利用者の絵のイメージのあった商品がなかったため、新商品の、ベビー石けんを試作した。



	⑦パンフレットに入れる商品説明と石けんヒストリーを決めた。パンフレットを試作した。 ⑧ミーティング行いパンフレットの内容を確認した。  ⑧ 試作したパッケージを石けんに合わせて、最終確認をした。 ⑨ プロトタイプが完成した。 
今後の展望など	・販路を広げ（利用者のアートを使用した販売会や・委託販売先の拡大）売り上げアップ図り、利用者の工賃に繋げていきたい。 ・石けんパッケージを、利用者の作業として定着させ、作業意欲を高める。 ・障害アートを商品にすることで、障害者へのイメージを変えていきたい。 ・今後はプロトタイプの作成だったため、よりブラッシュアップしてより良い商品パッケージにしていく。

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額（円）	備考
福祉活動助成金	480,000	
わらしべ舎西多賀工房	43,646	自団体負担
合計	523,646	

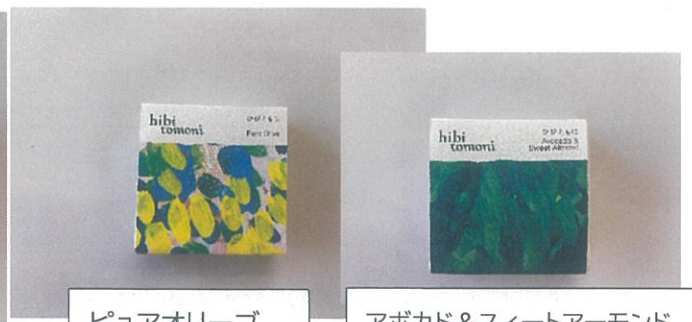
■ 支出の部

費目	内容	予算額（円）	実支出額
商品事例調査 交通費	高速道路代 駐車場代	6,000	3,420
商品事例調査 石けん代	石けん購入費	10,000	6,996
パッケージ デザイン料		340,000	340,000
パンフレット デザイン料		142,000	142,000
試作制作材料	石けん用オイル他	42,000	31,230
合計		540,000	523,646

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

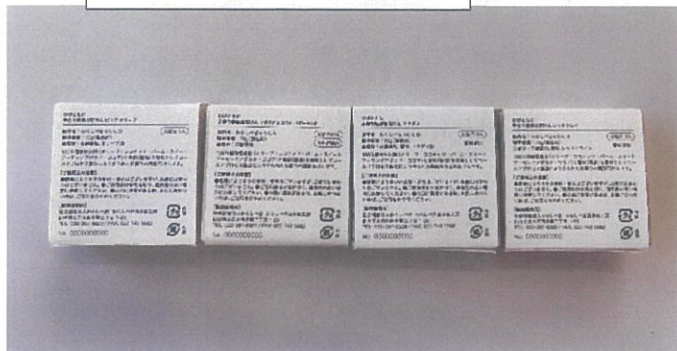


手づくり石けん 4種



ピュアオリーブ

アボカド&スイートアーモンド



ドクダミ

レッドクレイ



For BABY



パッケージ 3種



パンフレット

